

オプトアウト用紙

- 研究課題名

体外式心肺蘇生法確立までの胸骨圧迫は機械式胸骨圧迫法と用手胸骨圧迫法ではどちらが最適か？～体外式心肺蘇生法を行った院外心肺停止患者を対象とした SAVE-J II 試験の二次解析～

- 当院の責任者： 救急集中治療科 永嶋 太

- 研究目的

院外心肺停止症例に対して ECPR（体外式心肺蘇生法）を導入する場合、機械式胸骨圧迫と用手胸骨圧迫ではどちらが有用で最適か評価することを目的とした。

- 利用する情報

対象：SAVE-J II（体外循環による心室細動に対する高度救命処置の研究 II）登録の全患者を対象とした。除外基準は以下の通りである：胸骨圧迫法の種類の記載のないもの、集中治療室入室後の ECPR 実施、急性大動脈症候群/大動脈瘤、低体温、原発性脳障害、感染症、薬物中毒、外傷、窒息、溺水、その他の外因を含む非心臓疾患、病院到着患者時に ROSC（自己心拍再開）達成またはカニューレーション前に ROSC 達成の患者；他の病院から参加施設に転院した OHCA（院外心肺停止）患者、カニューレーション後、自己心拍再開（ROSC）により ECMO（体外式膜型人工肺）ポンプをオンにする前に離脱した患者、転帰のデータが不足している患者とした。

- ・利用情報の内容：SAVE-JII で使用されたデータセット

- ・利用情報の該当期間：2013 年 1 月 1 日から 2018 年 12 月

- 利用情報の他機関への提供の有無：無（当施設から他機関での提供はなし）

- 個人情報の取り扱い

「体外循環による心室細動に対する高度救命処置の研究 II（SAVE-J II）」の二次解析で、このレジストリには、日本国内の 36 施設が参加した。本研究は、日本の臨床試験登録機関である大学病院医療情報ネットワーク臨床試験登録（登録番号：UMIN000036490）11 に予備登録された。本研究は、香川大学の施設審査委員会（承認番号：2018-110）および各参加施設の承認を得ている。すべての参加施設において、本試験が後ろ向きであることから、患者の同意の要件は免除された。

- 企業等からの資金提供の有無：無し

- お問い合わせ先： 担当者名：永嶋 太 電話番号：0796-22-6111